

## Excel グラフ 内部規格案

Ver0.0 2006/9/15 T. Nishida

Ver0.1 2007/11/9 T. Nishida

- ・データ範囲を指定してグラフを書く。
  
- ・「グラフオプション」を聴かれるので、
  - + 「タイトルラベル」X, Y軸の座標名を入力。基本的に  
Voltage\_(V) というような書式で。( \_ は空白)  
タイトルはつけない
  - + 「目盛線」はX, Yとも目盛線をありに
  - + 「凡例」は、単一データなら「なし」、複数のつもりなら「上」にしておく
  
- ・まず、グラフのサイズを横を「A-G」、縦を「1-20」の範囲に。  
(この作業をする前行列のサイズを変えないように。)
  
- ・「プロットエリアの書式」で
  - + 輪郭を「自動(黒)」に。最初はグレーになっている
  - + 領域をなしに
  
- ・「グラフエリアの書式」だ
  - + 輪郭をなし、領域をなしに
  - + フォントの「自動サイズ調整」を解除
  
- ・追加データがあるなら、「元のデータ」にて追加する。  
複数データの場合は必ず「系列名」をつける。  
ここで系列名は英語が望ましい
  
- ・「グラフエリア」のフォントは「Arial」、サイズは「18」に。  
ギリシア文字「μ」は「m」をフォント「symbol」に、「」は「oC」でoを上付きに。  
難しければ、ここだけは「MS ゴシック P」でもOK。
  
- ・「凡例」のサイズを縮小してグラフ内に入れる。  
大きいならフォントはサイズ「14」に。

凡例のパターン、領域は「白」から「なし」に  
グラフの上が空くので、グラフエリアを上限まで伸ばす。

- ・ 凡例、軸ラベルで数値変数(V, I, T とか)があるなら、イタリックに。
- ・ 軸の書式
  - + メモリを調整、ラベルの数がは 3-6 個に収まるように。  
大抵、多すぎる
  - + 軸がグラフの内部にある場合は  
「目盛の種類」を「なし」、  
「目盛ラベル」を「下端/左端」
  - + 軸ラベルは工学単位(p, n,  $\mu$ , m, k, M, G, T)や「%」を使って、なるだけ小数点  
を使わないようにする。どうしても小数点を使いたい場合は  
表示形式を「数値」、  
「小数点桁数」を指定する。  
つまり、0.5, 1, 1.5 ではなく、0.5, 1.0, 1.5 となるように。
  - + 対数表示については「現在検討中」
- ・ 目盛線は「点線」に
- ・ 各曲線、ドットの色としては「水色」、「黄色」は見づらいので  
「#99ccff (Web カラーを参照)」とか「#ffcc99」に変える。  
複数のグラフで同様な試料がある場合は、グラフごとに色順を変えないようにする。
- ・ 論文ではカラーを使えないことが多いので、白黒、もしくはグレースケール  
にした場合でも、判別がつくようにできると良い。  
やりづらい場合は、コピーして、曲線線の太さを変える、線の種類を変えるなど。
- ・ 最後に、power point や word などに 拡張メタファイル形式で貼り付ける。  
図中に文字や注釈を入れたい場合は、いったん power point に張って作業する。

以上を自動で行ってくれる Excel マクロファイルがあります。graph-macro-V .xls で  
す。

以上